



この黒い丸いフタを開けると、約15Lのタンクがあります。
ここから材料を補充します。
補充は下写真の油さし等で行います。（方法は原始的ですが。）
補充をすればいくらでも圧入できます。（最大容積量というのはありません。）



タンクの中にフロートセンサー（釣りの時の浮きのようなもの）があります。
このセンサーにより、材料が完全になくなる前に機械が止まるようになっています。
補充忘れて、圧入中にエアが入ってしまうのを防止するためです。
（機械の性能上、エアも圧入量としてカウントされてしまうため）
通常は、機械が止まる前に材料は補充します。